



姫西 SSH 通信

vol.6 2026.1



「学びのエンジン」



SSH 推進部長（国際理学科長） 熊谷 洋介

先日、本校 29 回生の原良憲教授が来校され、2 年生の課題研究の助言指導をしていただきました。原先生には、SGH (Super Global Highschool) や SSH 第 I 期の指定期間中、長きにわたり国際理学科の京都大学研修、進路行事である京都大学探訪などの行事のコーディネートをしていただき、私たち後進の育成に尽力していただきました。歩んでこられたキャリアは輝かしくまぶしいものなのに、語り口はいつも静かで謙虚。私は原先生とお話しするのが大好きで、お会いできる日をささやかな行事のように楽しみにしています。京都大学を退官された今でも精力的にご活躍で、その話を聞くたびに、閉め切っていた部屋の窓が開き、新しい空気が流れ込んでくるように感じます。

助言指導の前に近況をお聞きしていると、ふと「生成 AI とそれを取り巻く教育課題」の話題となりました。今や生成 AI の進化は目覚ましく、いくつかの領域では人間の力を超える存在となっています。正直に言えば、私自身も仕事の中でその使い方を学び、ずいぶん助けられています。ただ、原先生曰く、AI に任せられる領域はあれど、人間が担わなければならない領域は依然として多くある、と。そこで私は、高校教員としてずっと胸の奥に引っかかっていた問いを、思い切って投げかけてみました。「高校の教員として未来を担う若人にどのような力を身につけさせる必要があるのでしょうか」。間を置かず返ってきた答えは「非認知能力」でした。

非認知能力とは、テストの点数や知識量だけでは測れない、生き方や学びの土台となる力のことです。1 年生も 2 年生も「GPS-Academic」を受けましたよね？ あれこそが問題解決能力を中心とした、非認知能力のアセスメントです。非認知能力はみなさんがこれから的人生で学び続けるための「内面的なエンジン」といえるでしょう。原先生はその中でも特に重要なものが「レジリエンス」だと言われました。「レジリエンス」とは「困難に向き合う力」を指します。前述のように、非認知能力は「内面的なエンジン」ですから、社会がどう変化しようと、どのような境遇に置かれようと、自身の学びを止めない姿勢こそが重要であるということは必然です。——ただ、思い返せばこれらの力の必要性は、「質実剛健」「自主創造」「友愛協調」という校訓の中には昔から刻まれています。改めて先輩に西高での学びの根幹を考えさせられました。

原先生とのお話の中で「生成 AI と共存する世界でもう一つ必要な力がある」とおっしゃっていました。それは「真善美」です。校訓にはないですが、この言葉はみなさんがよく知るあの場所に掲げられていますよ。原先生はそのことはご存知ありませんでしたが、偶然の重なりが示すものに、姫路西高校の伝統と理念の普遍性を感じ、背筋が伸びました。この言葉の意味やそれがどこに掲げられているのかはあえて言いません。AI が答えを整える世界で、自分の言葉で、自分の考えで、答えてみてほしいと思います。

探究活動

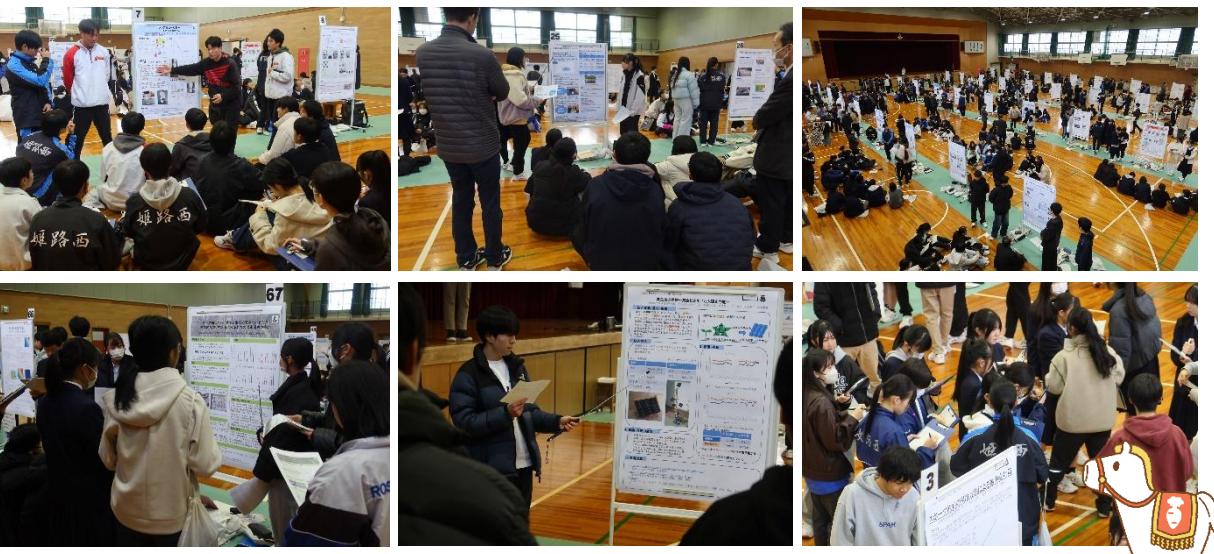


課題研究発表会：令和 7 年 12 月 17 日(水)

12 月 17 日(水)に体育館で課題研究発表会を行いました。2 年生全 71 チームが今年 1 年の探究活動の内容をポスター形式にまとめて体育館で発表しました。発表時間 7 分、質疑応答 3 分の各回 10 分間奇数チームと偶数チームが入れ替わりで発表を行い、発表時間以外は他チームの発表を聞きに行きました。その際「good job! シート」という名称の評価シートを書いて発表チームにフィードバックを行いました。1 年生も聞き手として参加し、事前に配られた要綱をあらかじめ確認して気になったチームの発表を聞きに行きました。

初めは緊張した様子で発表している班が多かったですが、回を重ねるごとにどんどん活気づいていったように思います。質疑応答も意識して行えていました。

代表チームは 1 月 31 日に行われる SSH 成果発表会でも発表を行います。今回の発表会をふまえて、細かいところまで改善し、より良い発表になるよう頑張りましょう。



SSH の活動



仙台第三高校来校：令和 7 年 12 月 10 日(水)

仙台第三高校の生徒が西高に来校し、2 年国際理学科の生徒と交流しました。仙台第三高校の生徒と西高の生徒が大講義室全体に散らばり、7 グループに分かれて課題研究について研究内容を発表しました。発表は本校に新しく導入された 32 インチディスプレイ「MOMOBo」を利用して行われ、取り組んできた内容をポスター形式にまとめたものを「MOMOBo」に映して発表しました。どのグループも活発に質疑応答が行われており、積極的に取り組んでいる様子が見られました。発表会の後は西高の食堂で昼食をとり、昼過ぎから姫路城に赴いて、グループごとに姫路城を探索しました。姫路城ではレクリエーションを行い、交流を深めました。

